令和6年度静岡県立東部特別支援学校伊東分校

第3回学校運営協議会 議事録

1 日時 令和6年12月1日(日) 午前10時~12時

2 場所 静岡県立東部特別支援学校伊東分校
(〒412-0055 伊東市岡 1270-1)

3 出席者

<運営協議会員> 福西 正美 氏(伊東市立さくら園園長) 【コーディネーター】
初鹿野 勲 氏(民生委員第4地区会長) 【欠席】
梅原 基示 氏(湯の花共栄会役員) 【欠席】
稲葉 政秋 氏(伊東分校ゲストティーチャー)
鈴木 絢子 氏(伊東市立伊東小学校PTA)
川口 良 氏(東部特別支援学校伊東分校PTA会長)

<学 校> 長崎 良夫(校長)
板垣 久(教頭)
田中 智子(小学部主事)
千葉 俊和(中学部主事)

4 日程 (1) ファミリー参観日 授業参観
(2) 感想・質疑等
(3) 閉会

5 議事内容

(1) ファミリー参観日 授業参観

中学部の音楽発表に始まって、小学部5・6年生のダンス、小学部1・2年生の発表会、小学部3・4年生のお店屋さん体験、そして最後に中学部の作業製品頒布会とすべての学年の発表を見学していただいた。

(2) 感想・質疑等

<稲葉様> これまで体験してきたことに、ストーリー性を加えていて、どの発表も見ごたえがあった。教師の隠れた支援が良かったのか、どの子ども達も、落ち着いて参加できていた。全体の流れにのれずに、不安定になる児童生徒もいそうだが、みんな見通しを持って取り組んでいた。学習の成果がよく出ていたと感じた。

個人的な感想ではあるが、音楽が持っている力が、学習には必要だと感じている。ある特定場面に対して、みんなが共通理解した音楽を流すと、子どもも教師も一つにまとまることができると思う。今後も生活の中に「音楽」を取り入れていってほしい。

広い学習環境も効率よく利用していると感じた。

<鈴木様>子ども達のモチベーションを上げるよう、いたるところに工夫が施されていて、子ども達が生き生きと取り組んでいたのが印象的だった。多目的室に入りきれない観客に対して、別室で参観できるように、映像等を流していたのが良かった。全体として一体感がある会となっていた。中学部の作業製品頒布会は、保護者も近くで参観できて、子どもたちと一緒に楽しむことができていた。

<川口様>以前は学習発表会で、ステージ上で順番に発表して全学年の発表を参観することができたのだが、現在のファミリー参観という形では、別会場で同時に発表を行っているので、全ての発表を参観することができなくなっている。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からこのような形へ変更したのだと考えられる。今回参観して、無理のない内容で発表に取り組んでいてよかった。子どもたちの笑顔が素敵だった。全体の雰囲気も良かった。

<福西様>自分の得意なことを発表できていた。中学部の「CATS」の展示など、展示方法に工夫があり、印象に残った。小学部1・2年生の発表では、長い時間座り続けることが難しい子でも、途中走り回る場面を設定することで、気持ちを発散でき、また座ることができていてよかった。保育園は火曜日に発表会なので参考にしていきたい。

(3) 次回は令和7年2月7日(金)午前10時から12時に行うことを伝え、閉会とした。